

「お米を食べて」 社会に貢献

松蔭高 パネルや劇でPR



「米を食べることは立派な社会貢献」とPRする女子生徒たち—西宮市

「米」を通して飢餓や地球温暖化などの問題を、松蔭女子学院・松蔭高(神戸市)の生徒ら46人が社会に提起するイベントが27日、西宮市高松町の阪急西宮ガーデンズで開かれた。

同校の3年生が取り組んでいる「Rice Action Campaign」の一環で、今年は「環境と食」がテーマ。

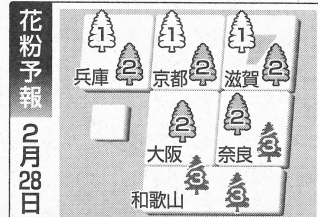
自給率が100%に近い米を食べる身近な行動で、輸入にかかる二酸化炭素削減や飢餓について考えてきた。

生徒らは昨年12月から課外活動を実施し、減農薬栽培をしている滋賀県の水田

視察や地産地消メニューの企画開発などを体験。神戸、大阪市内で活動を報告してきた。

この日、生徒らは学習成果をまとめたパネル展示のほか、「お米を食べよう」とのメッセージを込めた寸劇を披露。

さらに、阪急西宮ガーデンズの飲食店15店で、自ら



花粉予報 2月28日

1.少ない 2.やや多い 3.多い 4.非常に多い

週間予報 (3月1日~3月6日)						
日	1	2	3	4	5	6
大阪府	1	2	3	4	5	6
兵庫県	北部	1	2	3	4	5
	南部	1	2	3	4	5
京都府	北部	1	2	3	4	5
	南部	1	2	3	4	5
滋賀県	北部	1	2	3	4	5
	南部	1	2	3	4	5
奈良県	北部	1	2	3	4	5
	南部	1	2	3	4	5
和歌山県	北部	1	2	3	4	5
	南部	1	2	3	4	5

(日本気象協会関西支社発表)

開発に携わった減農薬米を使ったオリジナル料理を提

供し、多くの家族連れらでにぎわった。

代表を務める3年の北川真帆さん(18)は「お米は日本人の主食であり宝物。自給率を下げないためにも、これからもお米を食べることを心がけていきたい」と話していた。